

**製品名: CD156 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82204**

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                      |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | IHC,ICC,ELISA,FC                                  |
| 反応性    | 人間  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | Mouse IgG2a                                       |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体                       |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量  | 88.8kDa   |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | CD156   |
| 別名           | ADAM8; MS2; CD156a                              |
| 遺伝子 ID       | 101.0   |
| SwissProt ID | P78325  |
| 免疫原          | 大腸菌で発現したヒト CD156 (AA: 余分な 17-156) の精製された組み換え断片。 |

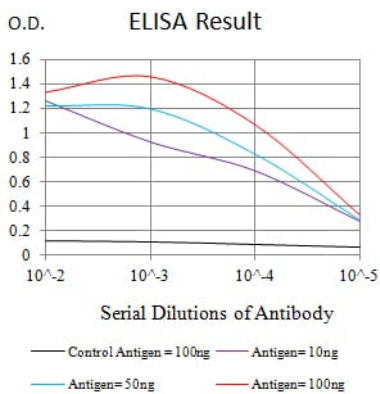
**背景**

この遺伝子は、ADAM（ディスインテグリンおよびメタロプロテアーゼドメイン）ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーは、ヘビ毒ディスインテグリンと構造的に類似する膜アンカー型タンパク質であり、受精、筋発達、神経新生な

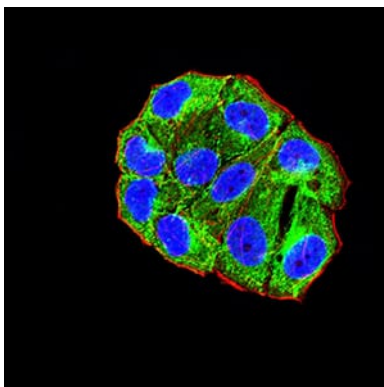
ど、細胞間および細胞-マトリックス相互作用を伴う様々な生物学的プロセスに関与していることが示唆されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、神経変性における細胞接着に関与している可能性があり、喘息を含むアレルギー性呼吸器疾患の標的となると考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。

## 研究分野

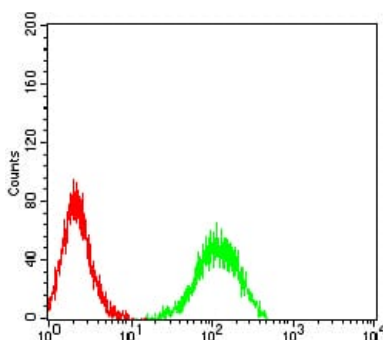
## 画像データ



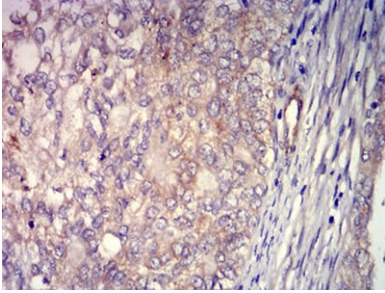
黒線：コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線：抗原 (10 ng) ; 青線：抗原 (50 ng) ; 赤線：抗原 (100 ng)



CD156 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤：Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD156 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD156 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。